

令和2年度 第1回特別職報酬等審議会（会議要録）

1. 日 時 令和2年10月15日（木） 午後7時00分～8時30分
※審議会前に補充委員の委嘱式を開催

2. 場 所 中野区役所4階 庁議室

3. 出席者(9名)

(1) 委員（五十音順：敬称略）

石川 宏 櫛田 正昭 櫻井 英一 杉山 直道 袖澗 悟
林 香江 福原 紀彦 星野 新一 吉川 信將

(2) 酒井区長

(3) 事務局

海老沢総務部長、浅川総務課長、事務局職員

4. 議 題

(1) 諮問

(2) 審議会の運営について

(3) 審議資料の説明について

(4) 議員報酬及び区長等の給料の適否について（審議）

(5) 今後のスケジュールについて

(1) 諮問

会 長

第1回目の審議会ということでございますので、開催にあたりまして酒井区長より当審議会へ諮問がございます。

区 長

～諮問文読み上げ、会長へ渡す。～

会 長

ただいま区長より当審議会への諮問を頂戴いたしました。区長は所用によりここで退席されます。

〔区長 退席〕

会 長

それでは、諮問文の写しを各委員に配付いたしますので、ご覧ください。

（コピー配布）

会 長

この諮問内容につきまして、今年度も委員の皆さんと審議してまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。先ほど委嘱状が手渡されました吉川委員につきまして、今年度から加わっていただくということになりましたので、どうぞよろしくお願い

いたします。それでは一言、各委員からご挨拶等をいただければと思います。

各委員

～各委員自己紹介～

(2) 審議会の運営について

会 長

審議会の運営につきまして、確認をいただきたいと思いますので、事務局から説明をお願いいたします。

浅川総務課長

～事務局 資料に基づき、運営方法について説明～

会 長

審議会の運営についての説明を得ました。ただいまの説明を踏まえた上で進行してまいりたいと思いますが、何かございますでしょうか。

(3) 審議資料の説明について

会 長

次に、配付資料の説明をお願いいたします。ご記憶もあるかと存じますが、確認方々もし何かお尋ねがありましたら、ご質問ください。では、本日の配付資料につきまして事務局よりお願いします。

浅川総務課長

～事務局 審議資料及び冊子資料（財政白書）の説明～

(4) 議員報酬及び区長等の給料の適否について（審議）

会 長

今説明を受けた資料は、ご審議いただくにあたっての基礎資料となるものでございまして、お持ち帰りの上ご覧いただければと思いますが、何かご質問、あるいは更に今年はこの資料があれば審議の前提として役立つことができるなどご意見等、ご要望等がございましたら、お願いいたしたいと思います。何か今の配付資料の説明の範囲でご質問とかご意見はございますか。あるいはご要望。毎回、毎年、議論の必要に応じて追加資料などを事務局にお願いして来ておりますので、今ではなくても審議の途中でも構いませんので、事務局、お手を煩わせますけど、ご要望がありましたらどうぞよろしくお願いしたいと思います。

石川委員

毎年増減の基準にしている、特別区の人事委員会勧告というのは、全くいつ出るかが今分からないような状態なのですか。

海老沢総務部長

今、スケジュールははっきりしていません。

石川委員

はっきりしていないですか。国のこの資料も先ほどご説明があったように、例年より2か月遅れた上で、さらに月例給についてはまだで、同じように遅れるとなると、この4回目まで間に合わない可能性もあるかと思うのです。

海老沢総務部長

年度末までには当然、一般職の給与を改定しなければいけないということがありますので、遅れてもそこまでは遅れないのではないかと考えています。

石川委員

12月には出るぐらいというところですね。

海老沢総務部長

聞いたところによりますと、民間の給与調査は実施したというような状況にあるので、全く間に合わないほどには遅れないだろうというような想定はございます。ただ、この日程で行きますと、2回にかかってしまう可能性は大いにあるかなと思っております。

会 長

2回はちょっとどうかなという感じがしますね。

海老沢総務部長

大いにあるかなと思っております。

会 長

3、4回あたりだと、3回目ぐらいだと出てくる可能性は高い。

海老沢総務部長

そうですね。そのように想定はしております。

会 長

ありがとうございます。大変重要なお指摘でした。ほかに何かございますでしょうか。また、スケジュールはそういうことですので、最後に今年の特殊事情を踏まえてお諮りしますが、資料その他の状況についていかがでしょうか。

海老沢総務部長

補足させていただきますと、財政状況でございますけれども、この「財政白書」を説明させていただきましたが、前年度までの状況においては、非常に健全といたしますか、かなり状況的には良い状況でございました。区債残高というところ、区の借金でございますけれども、これもかなり償還してきていまして、過去最低になっております。ここ何年かは区債を起こしていませんので、新たな借金も無いという状況でございます。

一方で、基金残高というのは積立金ですけれども、これもかなり積み上がっている状況です。ここ2年ほどは基金の活用を行ったことにより若干減っていますが、前年度までの決算は非常に良い状況でした。今年の決算はどうかというと、このコロナ禍でかなり悪い方向になってくるとおられます。あと、区債残高で言いますと、これから公共施設の建て替えが始まりまして、当然大きな箱物を建てる場合には借金して建てるというこ

とになるので、この辺の数字も、かなり基金残高が減っていきますし、公債費も上がって
いくだろうと思います。

ですので、令和元年度の決算は今までで一番良いような状況ではあるということが言
えるかと思います。

会 長

歳入はいかがですか。

海老沢総務部長

歳入も伸びてきました。

会 長

ありがとうございました。そういう中で一転、今年度や来年度の状況というのはどう
なのですか。

海老沢総務部長

来年度で申しますと100億円近い減収が見込まれます。まだちょっと経済状況がど
うなるかを見定めなければなりません、かなりの落ち込みですので、それに合わせた
予算編成ということになるかと思っています。

櫛田委員

補正予算というのは組んだのですか。

海老沢総務部長

補正予算はもう今年度はかなり組んでおります。というのは新型コロナウイルス感染
症対策で、区民の方に給付金ですとか、あるいは経済、例えば、中小企業を支えるための
お金ですとか、そうした緊急を要する経費が必要になりました。

櫛田委員

総額はどのくらいですか。

海老沢総務部長

区の一般財源としては、総額で約14億円の規模となっています。

会 長

特別定額給付金の事務は素早く中野区はされていたようでありましたし、国や都との
連携や個別に行われている新型コロナウイルス対策、あるいは安全対策というのは、随
分やっておられるように区報やいろいろなものから拝察しております。

海老沢総務部長

ありがとうございます。

会 長

そういう取組がまとまった資料があるといいかなと思ったのですね。こういった形で
今までと違った区の活動をどういうふうに区長、あるいは議会がきちんと指導されてい
るかというようなことが今年の見所ではないですけども、ほかの年にはない、我々も

判断しなければならぬ要素かと思っております。

委員各位からご要望、ひとつは恐らくそういうことだろうと推察いたしますので、いただけるものがあればお願いしたいと思います。

海老沢総務部長

はい。

会 長

そういうことで、長期的に庁舎の見直しだとかも計画されていますが、短期的なこういう事態が起こりますと、単年度で会計をやっていますけれども、短期的な対応と同時に、中長期的に予定していたものの進行とか、それを支える財政になっているのかと、そうした課題もうかんできます。単年ごとで見るとそれはいいけれども、長期的に今取り組んでいる事柄に向けてきちんと対応がなされているのか。例えば、元年度とか、運用はよかったと思うのですけれども、今年度もまだ運用している分は悪くないだろうといった判断。そういったものがきちんとできているのか。別にここは監査委員会ではありませんけれども、やはりそういうことを、区民のために行政の長や区民の代表である議員がきちんとやっておられるということが分かるというふうに思いました。そういう影響は出ていませんか。そういうことについて見直そうとかいうような動きはありますか。

海老沢総務部長

今、新しい基本計画を策定している真っ最中でして、その中に、例えば施設の建て替えですとかが入ってくるのですが、このコロナ禍を受けて更に慎重な検討が必要になってきました。

会 長

基本計画が出来ると聞いておりましたが、それが出来上がるのがちょっと遅くなるのでしょうか。

海老沢総務部長

このコロナ禍で、将来的な減収というものが見込まれている中で、その手直しをしなければいけないことから、計画策定が少しずれ込んでいるという状況です。

会 長

そういう区政全般に渡ることがきちんとやっていただいているのが分かれば、今年は配慮しようということになるかと思えます。無い袖は振れないというほどの財政の逼迫は来ていないけれども、きちんと報酬等を区民に代わって答申するにあたっての各役職の方々の活躍度というのは、やはり点検しなければいけないなというふうに思いました。

ほかに何か提供していただきたい点や、もっと照会して判断の前提にしたいというのがございましたら、ご提議ください。

吉川委員

先ほど、補正予算を何回か組んだということだったのでありますが、それは毎回議会を開いて承認を得るわけですね。そうすると、今年なんかは昨年度に比べても、議会の開催回数が増えているのではないかと思うのですが、今、手元にあるのは令和

元年度ので、まだ2年度は途中ですけれども、途中でもそういう状況が分かるような資料があればというふうに思います。

海老沢総務部長

2年度において6回の補正予算を組んでいますので、そういった中で1回、臨時会も開催しております。開催回数や会期日数についての資料についてもお出しできればと思います。

会 長

配付資料など説明を受け、その次に今日からキックオフということですが、議員報酬及び区長等の給料の適否に関する審議にあたりまして、資料を参考にしながらのご質疑をいただいております。冒頭私から、今年の特特殊性ということをお尋ねし、吉川委員からもご意見がありました。あと、そういうことで一言ずつ何かありましたら承っていきたいと思います。袖澗委員、いかがですか。

袖澗委員

新型コロナウイルス関係のいろいろな行政面で、どういうことをやったとか、どういうふうやっておられるとか、レアケースでございますので、議会なり役所のほうの成果とか現在の取り組み状況などをお聞きできればと思います。

会 長

毎年ではないご苦勞を聞かせてほしいなということですね。

袖澗委員

そうですね。一番それに時間を費やしたことでしょうし、ご苦勞があったと思うので、その辺、議員の方を含めて区の活動をお尋ねしたい。

星野委員

今年度は多分減収になって、支出が増えてくるということで、新型コロナウイルス対応でどのくらい補正予算とかを編成し、それを支える財政面は大丈夫なのかなということと、当然議員もそれだけいろいろと活動も大変だろうなとは思いますが、その辺の資料をいただければと思います。

杉山委員

新型コロナウイルス関係からは離れますが、学校関係も大変みたいですね。単に統廃合するだけではなくて、その辺の地域の理解を得るとかいろいろな活動が大変という話は聞いていますので、そういったところの視点もあるかと思ひます。

会 長

様々ご発言が出ていますが、消毒液の設置とかそのようなものも大変ですよ。

海老沢総務部長

新型コロナウイルス対策に対する消耗品ですとか、そういったものの配備は非常にお金をかけて対応しています。

会 長

ここの庁舎は、検温とかの装置は置いたりはしていないのですか。

浅川総務課長

職員が朝入るときにサーモグラフィーで検温をしています。一時は区民の方も入るとき、入り口を限定して必ずそこを通過していただき検温するという取組を行いました。

杉山委員

今までの話のとおり、多分、今年の新型コロナウイルスのことで様々なことがあるので、途中経過でも分かるところがあるとやはり皆さんにも参考になってよろしいのかなと思いますので、ご面倒ですが、よろしくお願いします。

櫛田委員

I T化というのはどのくらい皆さんがいろいろな部署で進められていて、経費節減とかにつながる数字が出ればもっといいのですけれども、今後の行政負担が減るような努力をされているかどうか分かれればと思います。デジタル化の現状を少しお聞きしたいです。

石川委員

区議会事務局、あるいは議員の方とか教育長、常勤監査委員もそうなのかもしれませんが、来ていただくには先ほどからご意見が出ているように、例年と違ってそのコロナ禍で、特に今年はこれが大変だった、こういうことをやっている、やはりそういうことを聞きたいのではないのでしょうか。聞くとしたら、毎年常勤監査委員はご本人に来ていただいておりましたし、今年は、それよりは議会、教育関係で事務局の方でいいかと思うのですけれども、来ていただいて、ご苦勞を話していただくのがいいのかなと、そういうふうに思いますけれども。

会 長

教育委員会の方でもやはり、そういうところから今のような観点のヒアリングができればということですね。ありがとうございます。それと先ほど出てきましたI T化ですけれども、これは、議会は熱心に取り組んでおられましたが、今期の新型コロナウイルスの対応とかではいかがでしたか。

海老沢総務部長

なかなか進んでいないのが現状でして、議決のときは全員集まる必要があるといった制約があります。代表質問や委員会などは、密になってしまわないように、人数を分散させてやったり、日にちをずらしてやったりとか、いろいろと工夫してこなしました。もう少しI T化が進むと良いのですが、なかなか急には進んでいないという状況があります。

会 長

では、毎年のように、私たちの認識を深め共有する意味でお越しいただいている方々につきましては、今年も可能な限りお越しいただくことですが、今、石川委員がおっしゃったように、代表監査委員はよろしいですね。それと、教育長も昨年来ていただいたということでもよろしいですね。

そうしたら今年は、教育委員会は事務局のほうでどういう取組をしているかをお知ら

せいただく、特に教育現場は新型コロナウイルス対応ということでは大変なご様子でしょうし。それと、議会事務局については例年はない議会のご苦勞を事務局の事務局長か、議会事務局のほうのしかるべき方からお話を伺うということでもよろしいでしょうか。では、今のようなご質問を先に投げかけておいてご登場いただくことにします。ありがとうございます。

吉川委員

私は去年いなかったのだから分らないので、その質問だけさせていただきたいのですけれども。おとしですか、副区長がなかなか決まらなくてというお話があって、去年は副区長のお話なんかを聞かれたりはしていないですか。

もしも、できたらちょっと。副区長も審議する対象に入っているようなのですけれども、私自身、副区長から話を聞いたことがないので。

石川委員

私も今まで副区長から来ていただいて、話を聞いたことがないから。この事務局に、結局、区長とか副区長とかの運営については話していただけるから、直接でなくてもいいという形で今までやってきたのですけれども。

会長

では、区長、副区長の行政執行部の方からは副区長に出ていただければと思います。議会事務局、それから、行政執行部からは副区長、それから教育長に関してとかのお話を聞くので教育委員会のほうからという形で、そのお三方をお願いすることにしたと思います。それを含めてですが、冒頭にあったこのスケジュールをご覧いただきたいのですが、4回目は確認ということになりますと、3回目は実質審議ということになると、ヒアリング調査というのは2回目にしなければいけないので2回目、そのお三方のヒアリングから始めてまいりたいと思います。

(5) 今後のスケジュールについて

会長

スケジュールに関しましては調整をさせていただいて、お手元に配っているとおりで進めさせていただきたいというふうに思います。そして、今年は第2回につきまして、今のようなお三方にお話をお伺いし、そのお三方から得られないこともあるかと思しますので、事務局のほうにも中野区政全般について、本年度の特殊なご苦勞などをお聞かせいただければと思います。そのときに、例えば、そのことによって中長期的な観点も見直しているというような区政のことが聞ければと思います。よろしくお願ひします。

今日はそんなことで、それぞれのお立場でこの難しい時期を見ていく視点や、感想を共有できて有意義でございました。そういった区民感情の上に立って中野区の行政、または議会がどういふご苦勞をいただいているのかを次回お伺いいたしまして、一方で、出てまいります勧告等を待って3回、4回と続けてまいりたいというふうに思いますので、引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

本日の審議の内容は以上といたします。